

模擬裁判 事例

A氏 (女性 43歳)

言いたくないことを言わない自由があると聞きました。それが嘘を言うことが許されるという意味ではないことも理解しました。

小さい頃、私の家族は父母と兄と私の4人でした。私の初めての記憶は、父が母に対して「お前、殺したるか」のように言って、暴力を振るっていたというものです。父は家庭外に女性を作り、外泊することが多かったのですが、ときに帰ってくるときは酩酊していて、母親に暴力を振るいました。そんなときの夜に、母の裸の背中が見えたことを覚えています。これは父と母がセックスしていたんだと後になって性教育を受けてわかりました。父親は私にも暴力を振るうことがありました。小学校の高学年になったときには、父は私に「胸が大きくなったな」とか「毛、はえたんか」とか言うことがあり、父が帰ってくると、私はいつもビクビクしてしまい、近づかないようにしていました。

私は陸上競技をやっていて、15歳頃から食事制限をするようになりました。その後、過食になって、吐くこともありました。私が18歳の頃、酩酊した父が私の布団に入ってきました。大きな声を出したら兄が来て助けてくれました。

私は高校を卒業して、短期大学に進み、卒業後、就職し、27歳で恋愛結婚しました。28歳のとき娘が一人生まれましたが、結婚生活はうまくいかず、子供にも不安な思いをさせました。34歳のとき、夫とは別居し、私の母と娘と私の3人で暮らし始めました。私は病院の事務の仕事を始めました。しばらくして離婚が成立し、娘の親権を私が持ちました。その頃、私は精神的に安定しており、職場では周囲から頼られ、娘は明るくなり、学校ではよく勉強をして、母も娘をかわいがってくれて、家族で楽しく過ごした時期です。

しかし、40歳のとき、私に胃癌が見つかりました。手術を行い、成功しました。その後に始めての万引をしました。和菓子とパンをとりました。お金はもっていましたが、節約しなければならないという考えがありました。もちろん、万引きは悪いことだと思っていましたので、もうしないでおこうと思いました。でも、外出すると、万引きしたくなり、我慢すると苦しいので、万引きをしました。何度もこれを最後にしようと思いましたが、やり終われば、翌日、また、万引きをしたくなりました。我慢できる日もあったけれど、我慢できても数日がやっとなら、また、万引きをしました。週に3～4回万引きをしていました。

万引きを始めて3か月ほど経ったときに店舗の警備員に見つかり、警察が呼ばれました。きつく注意されて、母が呼ばれて、引き渡されました。その後、1か月ほどは我慢しましたが、また、万引きを始めました。早い内に、週に3～4回するペースに戻りました。毎日立て続けにすることもありました。万引きが見つかり、警察を呼ばれて、注意されて、母親に引き渡されることが、41歳から42歳にかけて、5回程ありました。

病気だと言われ、自分でもそう思いました。クレプトマニアのミーティングに行ったら、みんな一生懸命我慢しているのがよくわかりました。失敗して刑務所に行ってしまった人がいるとも聞きました。でも1人だけ条件反射制御法を受けた人がいて、「昔は盗りまくって捕まりまくったけど、3か月の入院で条件反射制御法を受けたら、万引きの欲求が全くなかった。我慢なんかしていない。普通に買い物ができる」のように言って、みんなに入院治療を勧めていました。本当にそんな治療法があるのかと思い、病院に電話しました。病院のケースワーカーから、3か月の入院治療をして、その後も維持作業をすれば、欲求がでないままに過ごせる人がほとんどだと言われました。私は、自分のこの欲求が治るわけではないと思い、入院治療の予約はしませんでした。

43歳の誕生日には絶対にもう万引きをしないと願うように決意しましたが、無理だと思ふ気持ちもありました。翌日からそれまでと同じように万引きを続けていたら、店舗の警備員に見つかり、警察に行き、取り調べを受けました。その日は自宅に帰りましたが、後に、始めて起訴されました。万引きはしばらく我慢していましたが、判決前に万引きを始めていました。裁判は簡単に進み、20万円の罰金となりました。20万円は私にとって大きかったので、今度は絶対に万引きをしないでおうと思ひました。

判決の言い渡しの日は我慢しましたが、次の日からまた万引きをしていました。

判決を受けて10日ほど経ったとき、刑法が変わって、違法行為治療法と違法行為処罰法になったというニュースをテレビで見ました。ちょっと難しかったのですが、薬物乱用や万引きは病気の部分があるので、治療を受けなければいけない、受けなければ処罰されるということでした。私が責められているように感じました。一緒にテレビを見ていた母は私に「あなた、まだ、やってんじゃないの。入院したほうがいんじゃないの」と言いました。私は「いや、我慢できてる」と答えましたが、声が震えました。

その翌日も万引きをしました。その日は万引きのやりおさめにしよう、最後の万引きにするからいいんだとごまかす気持ちがありました。

しかし、その次の日も万引きをしました。やめられませんでした。今度捕まったら、逮捕されて留置場に行く聞いていたので、毎朝、もう家に帰ってこられないかもしれないと思っていました。でも、娘も中学生になり、少し反抗期で、家に私がいなければならないと思っていたので、条件反射制御法を受けるために入院はできませんでした。ミーティングは治っていない人ばかりだし、他の治療も同じようなものだろうと思ひました。それでも治療を受けようかと思ひながら、毎日万引きをしていたら今日捕まりました。

今日はお菓子とコーラを盗りました。合計で800円くらいです。私は確かに万引きを繰り返していました。悪いことだと知っています。でも、このままでは絶対万引きをやめられません。ここまで来たら入院して治療を受けようと思ひます。

平成30年 6月 8日
署名〇〇〇〇 捺印